



☎0154-44-3291 FAX0154-44-3292

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/

電子メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

様々なへき地教育実践の教育効果を可視化してとらえるために

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター
センター長 玉井 康之

各キャンパスではそれぞれ実習体系の中にへき地・小規模校の実習を組み込んで、へき地校の理解や指導力の向上を目指しています。そしてその実践の中で、Before-After のアンケート等を実施してその成果を検証しています。成果をとらえる方法も様々あり、その方法も確立しているわけではありませんが、各キャンパスともその成果指標を明らかにするために、様々な実践を進めています。

今回のニュースでは、釧路校の新入生研修（へき地校1日訪問）のアンケート結果を紹介して、へき地校体験実習の効果と成果指標の捉え方の一つを紹介したいと思います。釧路校の新入生対象のへき地校体験実習も大変成果があったようです。今回は境智洋先生に紹介して頂きました。これからも様々なキャンパスの実践を紹介していきたいと思っています。

新入生対象の「へき地校体験実習」の実施内容と教育効果

釧路校地域教育連携委員会委員長 境 智洋

釧路校では、5月最終週の金曜日に、新入生全員を対象にした「へき地校体験実習」が行われています。この取り組みは全国の大学の中でも独自の企画であり、釧路市を始め、釧路管内厚岸町、釧路町、標茶町、弟子屈町、浜中町、鶴居村、根室管内根室市、別海町の2市6町1村の教育委員会及び小中学校の支援と協力を得ながら実施しています。平成17年に釧路校では、新入生研修のより効果的な方法を探り、合宿形式から現在の1日の研修に変更しました。学生の教員になりたいという意識をより強めさせるためにも、フィールド実習等での市内小学校を訪問とともに、市内小学校と小規模校を比較するという意義も加えた「1日のへき地校体験実習」を実施し、4年間の入門期の学校体験の充実を図りました。学生は、朝6時30分頃から、大学に集合し、8台のバスに分かれて、24校の小中学校へ移動します。学校の出迎えを受けた学生は、学校の独自のスケジュールに従ってへき地小規模校の児童生徒と共に、1日の学校生活を体験します。標茶町立中茶安別小中学校では学校林の中の散策、浜中町立茶内第一小学校では、学校農園に子どもたちと一緒にジャガイモの植え付けを行いました。その他の学校でも、様々な活動を子どもたちと共に行います。また、学生は訪問校の複式・少人数授業も参観します。とくに複式学級では、「わたり」「ずらし」などの授業方法を取り入れた授業を参観させてもらいます。学生は、複式学級の授業方法の難しさとともに、子どもと先生が近く、また、一人一人が間接指導の際にグループ、ペア、個人など先生がいなくても自分たちで学んでいく姿を目の当たりにします。本物を見ることでへき地学校のイメージがどんどん変わっていくようです。終了後に、参加学生全員にアンケートをとり、学生の変容を見取っています。詳細は次頁以降をご覧ください。

結果を見ると、「学校での研修経験は有益だった」と回答する学生は9割を超え、「へき地小規模校の教師になってみたいと思うか」という問いに対しては肯定的な考えを持つ学生が7割になります。また、「この研修を通してへき地・小規模校への見方が変わったか」という問いに対して8割以上の学生が変わったと回答しました。「へき地・小規模校はマイナス面が多いと考えてしまうが、実際に行ってみるとプラス面が多くて、経験できて良かったと思います」「私はへき地はメリットが少ないと思っていたが、実際はへき地でしかできないことがたくさんあり、メリットに包まれている場所だと思った」「へき地校ならではの教育法だけでなく、大規模校でも共通して大切だと思えることがたくさんあり、へき地校、大規模校共通して応用していけることがたくさんあるのだとわかりました」「へき地学校のイメージが変わりました。よりへき地で働きたいと思うことができました」など、肯定的な意見が多数を占めています。

釧路校の卒業生は全道、全国で教職に就き、子どもたちと奮闘しています。この実習で訪問している釧路管内、根室管内には多くの釧路校の卒業生が教師として働いています。その多くが「根室で働きたい」「へき地で働きたい」と願って教員になっています。たった1日のへき地校体験実習の経験が、学生の中での「釧路・根室で働きたい」「へき地で働きたい」というきっかけになっていると確信しています。教員養成にとっての体験がどのように「教員になりたい」に影響を与えていくのか、今後も検討していきます。

設問1 子どもたちとの触れ合い・交流ができましたか？

項目	人	%
よくできた	145	79.7%
できた	27	14.8%
ふつう	8	4.4%
あまりできなかった	2	1.1%
全くできなかった	0	0.0%
計	182	100.0%



【写真1】新入生研修当日、朝の出発式の様子

設問2 学校での研修経験は有益でしたか？

項目	人	%
とても有益だった	162	89.0%
有益だった	14	7.7%
ふつう	5	2.7%
あまり有益はでなかった	0	0.0%
全く有益ではなかった	0	0.0%
計	182	100.0%

設問3 道東の小規模校・子どもの素晴らしさを発見できましたか？

項目	人	%
よくできた	130	71.4%
できた	42	23.1%
ふつう	10	5.5%
あまりできなかった	0	0.0%
全くできなかった	0	0.0%
計	182	100.0%



【写真2】学生が複式授業を参観している様子

設問4 へき地小規模校の教師になってみたいと思いましたか？

項目	人	%
是非なりたいたいと思った	59	32.4%
考えてみたいと思った	85	46.7%
ふつう	28	15.4%
あまり思わなかった	10	5.5%
全く思わなかった	0	0.0%
計	182	100.0%

設問5 新入生研修に参加して、大学で学んでいく上での新たな目標が見えてきましたか？

項目	人	%
よく見えてきた	66	36.3%
見えてきた	98	53.8%
ふつう	19	10.4%
あまり見えてこなかった	0	0.0%
全く見えてこなかった	0	0.0%
計	182	100.0%



【上写真3】少人数指導の様子
【下写真4】は児童と一緒に活動している様

設問6 新入生研修に参加して、へき地・小規模校への見方が変わりましたか？

項目	人	%
かなり変わった	124	68.1%
少し変わった	48	26.4%
ふつう	10	5.5%
あまり変わらなかった	0	0.0%
全く変わらなかった	0	0.0%
計	182	100.0%

設問7 新入生研修に参加して、へき地・小規模校のプラス面を発見できましたか？

項目	人	%
かなり発見できた	32	17.6%
少し発見できた	86	47.3%
ふつう	46	25.3%
あまり発見できなかった	18	9.9%
全く発見できなかった	0	0.0%
計	182	100.0%



設問8 新入生研修に参加して、へき地・小規模校のマイナス面に対するあなたなりの克服方法を発見できましたか？

項目	人	%
かなり発見できた	32	17.6%
少し発見できた	86	47.3%
ふつう	46	25.3%
あまり発見できなかった	18	9.9%
全く発見できなかった	0	0.0%
計	182	100.0%

平成30年度 新入生研修アンケート自由記述

No.	【設問1】 この研修全体の中で、あなたにとって良かったことはどのようなことですか？	【設問2】 この研修を体験したことによって学校や地域、教師や子どもなど、あなた自身の教育観（価値観・認識）が変化したこととはどのようなことですか？	【設問3】 新入生研修全体について意見や感想を自由に記述してください。
1	複式授業に限らず単式授業や特別学級での授業など様々な授業形態を見学できたこと。	複式学級（や特別支援学級）だからいつでも複式授業（個別指導）をする訳ではなく学習内容や子どもたちのニーズに応じて授業形態を柔軟に変化させることが大切だと気がついた。	また行きたい
2	へき地校の実際の状況を目の前で見ることができてとてもよかったです。また、母校（札幌）との違いも見つけることができました。	へき地校だからと変わることもあるけど、意外と大規模校とも変わらないことも多いなと思いました。	担当の学年の女の子と作った折り紙を交換できずごく嬉しかったです。ずっと家に大事に飾ってあります。
3	初めて複式授業を見ることが出来たこと。少人数だからこそできること、子どもたちが自主的に学ぶ姿をみて、学校は教師が子どもたちに教える場ではなく、子どもたちが学ぶ場だということを変更して認識することができたこと。	子どもはこんなにも賢く、可能性を秘めているんだなと思った。また授業方法によってこんなにも変わるのだなと授業の大切さを改めて感じた。	とてもいい経験になりました。フィールドとは違った勉強もできたので良かったです。
4	地域の人の関わりが密だと分かったこと	先生が大人数を相手に指導しているという考えだったが、そうではなくて、本当は先生が一人を相手に指導をしているもので、ただそれが何人もあるのだと実感した。	へき地、小規模校出身者ではない人はなかなか経験することが出来ないと思うので教師になる上でとても良い、有意義な研修だと思う。そこで今までの学校の価値観が変わったりするのでとてもありがたいと思う。
5	へき地小規模校を実際に見て回ることでより多くの見聞を広めることができた。	ものを教えるのではなく、教師は子供に考えさせるのが仕事だということを知った。	複式授業は地域文化論などで講義を受けるだけではなく、実際に見るのが一番いいと思いました。私は今回の新入生研修で初めて複式授業を見て、子供達の学ぶ意欲を強く感じられ、そのような生徒がもっと中心部の学校にもいればいいのかなど、これから自分がどうしているかを研究したいかをよく考えるいい機会となりました。
6	先生方の体験やアドバイスなどを聞いたこと	これからへき地校が増えていくと思うので、実際に見て学べることは貴重なんだと感じました。	時間が一回だけでは短いような気がした。
7	今まで受けてきた複式学級や先生の一対一の指導を客観的に見ることが出来たこと。	学校という場は先生が教えるところではなく、子どもたちが学ぶところであることがわかった。子どもたちが自主的に学ぶ姿や、自分たちが仕切って授業を進めるところを見てそう思いました。	貴重な経験だと思います。
8	へき地校の現場を実際に見れること	複式授業を初めて参観して、想像以上に雰囲気良く、子ども全員が積極的に衝撃を受けた。先生と子どもの関係性が親密で、へき地・小規模校ならではの温かい雰囲気に心打たれた。	中学校ぶりに根室のおいしい給食が食べれて可愛くて元気な子供たちと関わることができて楽しかったです。また、5時間目に自分たちが考えた遊び企画をさせていただく機会を与えていただけて本当に勉強になりました。是非、将来海星小中学校で働く日が来るといいなと思っています！！
9	授業で話は聞いていても実際に見るとはやっぱり全然違って複式学級の授業の仕方とか先生方や児童の雰囲気だとか習ってる以上のことが学べたこと	障害を持った子供たちに対する対応への認識が変わりました。	行く前はなかなかイメージがつかず、ドキドキしていましたが、行ってみたら子どもたちもとても人懐っこくて、元気いっぱい可愛かったです。充実した時間を過ごすことができました。
10	実際に自分の目でへき地、小規模校教育の様子をみて、イメージを的確にすることができました。子どもたちの自立、自主性を肌で感じ、そこにはへき地ならではの教育があり、子どもたち一人ひとりが生き生き活動していることがわかり、へき地教育の楽しさを知ることが出来たのは本当によかったと思います。	先生と児童の距離	もう少し、研修時間を長くして欲しい。
11	複式授業ならではの展開方法、指導方法、子どもたちの役割を知ることができたこと。レクリエーションを学生のみで運営させて頂いて、子どもたちの笑顔を見ることができたこと、楽しさを感じることができたこと。	地域とのつながりが深いことはとても良いが、だからこその何か問題が起きると大変であるということに気付かされた。	複数人の障害を持った子供たちと一緒に過ごしたことが初めてだったのでとてもいい経験になりました。また、小規模校の子供たちと先生方の繋がりや深さを肌で感じ、小規模校のメリットを実際に見ることができました。合同授業の利点も見ることができました。
12	障害を持っている子供達と1日一緒に過ごし、遊んだり勉強したことを通して、集団現場における障害を持った子供への対応の難しさを痛感できました。	児童主体の授業が1番身になるということ。	これから教職を目指す上で、大変貴重な経験になりました。
13	学校の中の子どもとふれあうことができたこと。	へき地・小規模校は子どもの人数が少ないことから教材が少なく、子どもにきちんと学習をさせてあげられていないと思っていたが、先生なりに工夫をして子どもたちにわかりやすい学習を心がけていたこと	ここまで全校人数が少ない学校は初めてだったので、貴重な体験が出来たと感じている。

平成30年度 新入生研修アンケート自由記述

No.	【設問1】 この研修全体の中で、あなたにとって良かったことはどのようなことですか？	【設問2】 この研修を体験したことによって学校や地域、教師や子どもなど、あなた自身の教育観（価値観・認識）が変化したこととはどのようなことですか？	【設問3】 新入生研修全体について意見や感想を自由に記述してください。
14	へき地小規模校のならではの良さに直接触れることが出来た。	都会の学校には様々な施設があり、子どもたちにとってはとても良い環境だと思っていましたが、へき地は自然が豊かで子どもたちがのびのびと成長できると思いました。子どもたちの協調性を育むことができると感じました。	へき地・小規模校はマイナス面が多いと考えてしまいが、実際に行ってみるとプラス面が多くて、経験できてよかったと思います。
15	自分たちで遊びを企画して、子どもたちと遊んだこと。	教員は子どもたちを楽しませるというより子どもたちが自分で楽しむことの支えになるということ。	根室市の学校で遠かったからか、学校に居られる時間が少なく、もっと子どもと関わりたかったなと感じました。貴重な経験をありがとうございます。
16	へき地・小規模校についての実践的な知識を得られたこと	子供を第一に考える熱意や真剣さが私には足りなかったこと	へき地校の運動会に行きたくても遠くて行けないので、学校で援助していただけるとありがたいです。
17	子どもと触れ合えたこと	思ったよりも皆明るい雰囲気、勉強もとても集中して取り組んでいたことです。	質問コーナーがとてもありがたかったです。
18	今までへき地校に訪れたことがなかったので、今回このような機会があってとても良かったと思います。へき地校はへき地校の良さがあることがわかりました。子どもたちがのびのびと成長できるとても良い環境だと思いました。	へき地校のイメージは静かな感じだと思っていたが、実際訪れてみるととても温かく、元気いっぱい子どもたちかいて、教師のみなさんも笑顔溢れる優しい人が多かったという自分が思っていた学校よりも素晴らしかったです。	へき地に行く機会はありませんので良い経験になりました
19	教員としての新しい視点や新たなスキルを多く学べたことです。	児童と先生は話しやすい環境にあるほうが、いい話し合いができたり、深い学びができるのだなと思った。	虹別小学校さんが設けてくださった、質問コーナーが良かったです。
20	子供とふれ合う機会が多かった	人数が少ないため一人ひとりの個人学習が多いと思っていたが、子どもたちだけで意見交流する場面があり、みんなで教え合う場面が多かったこと。	このような機会を作っていただきありがとうございます。要望を言うと、もう少し長い時間学校訪問したかったです。子どもたちと仲良くなれましたが、一人ひとりとは交流できなかったのが残念でした。なので、もう一度学校に訪れたいです。
21	今まで、へき地小規模校の事は書面でしか見たことが無かったのですが、実際に行ってみることで、書面ではわからない学校の雰囲気などを知ることができたことが良かったです。	信頼関係が崩れた場合は修復がとても難しいこと	話しただけ聞いても複式授業を想像できなかったが、実際に見ると先生がどちらの学年も一度に教える大変さや工夫を感じることができた。
22	初めて複式授業を見ることができてそろ先生の指導の仕方だったり、少人数ならではの取り組みの中で他学年同士での交流が活発にであると感じたことです。	学年が違っても同じように学べる。学年で差をつけてはいけない	1年生のはやいうちから経験できてよかったです。
23	授業中に児童の話し合いが行き詰まったとき、先生が違う意見を出しより考えを深めていた。話し合いの深める方法を1つわかった。	これまで複式学級のマイナス面ばかりを認識していましたが、プラス面もたくさん見つけることができるようになりました	へき地校ならではの教育法だけでなく、大規模校でも共通して大切だと思えることもたくさんあり、へき地こう、大規模校共通して応用していけることが沢山あるのだとわかりました。
24	全ての学級の複式授業を見ることができたり、休み時間や掃除の時間など子どもたちと交流する場面が多かったこと。	少人数の学校は子供達が授業に対して非常に能動的に取り組んでいるという事	【感想】とてもいい経験ができました。来年も続けていってほしいです。【要望】できることなら、せっかく複式授業を見ることのできるまたとないチャンスなので、全員が複式授業を見学できないか担当してくれる小規模校に打診してほしい。また、子供たちや教職員の方々ともっと交流する時間を増やせないか打診してほしい。
25	現場の教員方の授業を観れたこと	複式授業は生徒が能動的に学ぶことができることが多いため通常授業よりも生徒が理解しやすいと思った。	子供たちが名前を覚えてくれてたくさんの子とふれあいが持ててすごいですいい日を楽しみました
26	へき地小規模校は経験したことがなかったため、身をもって体験できてよかった。へき地の授業の内容と合わさってよかった。	へき地校のほうが、特別支援教育に対して強い関心を持ち、子供一人一人にあわせた教育を行おうと、学校だけでなく地域等も連携して考えていること。（個人的主観による）また、児童・生徒も教師を頼り、親睦を深め、教師も子供たちを理解しようと積極的に行動していること。	フィールドでは環境作業しかなかった場合が多いため実際に教員の子どもの関わり方に目を向けづらかったため、教室に入り子どもたちと関わることができて自分なりに学ぶことも多かったし、よかった。
27	地域文化論で行ったへき地校についての内容を体感することができたこと	へき地の生徒が先生と距離が近くて学校全体の雰囲気がすごい良くて、大規模の学校よりも小規模の学校のほうが人間としての学びが深くなるんじゃないかと考えが変わりました	へき地校を訪問することで少ない児童と密接に関わられたので良い体験ができました。是非来年の1年生でも実施して欲しいです。
28	へき地について詳しく知れたこと。	「子どもにとって」というのが本当に重要になると思った	へき地や小規模校を体験したことない人にとってはとても良い経験になるので、もっとへき地に行き、学びたいと思いました。
29	生徒たちからたくさん元気をもらい複式授業を客観的に見れたこと	その地域の特性を十分に活かし、子供たち自身が地域の良さに気づくような教育を進めること。	素直で深刺としたへき地の児童達とふれあえて本当に良い時間を過ごしました。また、複式学級の中で工夫を凝らす教師の姿を見学できました。この経験を今後自分の大学生活やその後の人生に生かしていきたいです。

平成30年度 新入生研修アンケート自由記述

No.	【設問1】 この研修全体の中で、あなたにとって良かったことはどのようなことですか？	【設問2】 この研修を体験したことによって学校や地域、教師や子どもなど、あなた自身の教育観（価値観・認識）が変化したこととはどのようなことですか？	【設問3】 新入生研修全体について意見や感想を自由に記述してください。
30	へき地・小規模校というだけでマイナスイメージを持ち、教育に対しても大都市部教育に劣っていると半ば見下しがちな感情を抱いていたが、実際にへき地・小規模校を訪れたことにより、マイナスイメージを払拭できたこと。	児童が少ないことにより、先生との関係がかなり密接だと感じた。	友好的な児童ばかりで、たくさんの児童と触れ合えたのでよかった。6年生が学校のパンフレットを作って渡してくれて嬉しかった。1回だけじゃなくもっと研修に入りたい。
31	実際にへき地校に足を運べたこと	へき地の子どもたちは、人数が少ないのでコミュニケーション力が少ないのかなと思っていたけれど、子どもたちから話しかけてくれたりして、そこまでコミュニケーション力がないわけではないのだと思った。	とても自分の将来を考える上で、影響を与えるような研修でした。ありがとうございました。
32	実際の学校現場で教員側で教員の実際の仕事を見たこと	へき地の学校の方が複式学級で異学年同士の関わりも多く、上級生が下級生を引っ張る姿があること	へき地の先生に興味があったけれど、今回の研修でぜひへき地の先生になりたいとおもった。
33	どのように接すれば、わからないことを素直に言える雰囲気を作ることができるかを、色々な子供達に触れることで深く考えることができたことが良かったです。	各学年によって先生と児童の距離が違うこと。	へき地小規模校とは聞いていたけど、実際にどんなものか想像はつかなかったため行けて交流できたので良かった。新任の先生もいて、とても勉強になった。また、先生の人数も少なかったので、みんな協力的だったのが印象が強かった。
34	普段体験できないような複式授業を間近で見ることができたことがよかった。	複式学級だからこそ、できることがあるということ。例えば、個人に合わせた授業など。	楽しかった
35	複式授業を見学できた。小中併置校の良さや難しさを発見できた。	へき地の子供達は教育が遅れるというイメージがあったが、先生たちが工夫していて積極的に実りのある授業ができていたのだと思った。	フィールド研究ではできないような経験もできたので、とても有意義な時間になった。
36	複式学級を直接みれたこととへき地学校で生活を送ってる子どもたちと関わったこと	少人数だから、固定の友達とだけ仲がいいのかと思っていたら、全校のみんなが仲良かったこと。上の学年が下の学年に教える場面が数多くあり、責任感や指導力が身につくのだと感じた。	1度だけしか会うことがないというのが悲しいと思った。子どもたちがどのように成長するのか知りたいと思った。フィールドの子どもたちは大きく違うところが沢山あった。人懐っこいと感じた。
37	少人数の中でも助け合って学び合う児童の姿が見れたこと	学校は人としての価値観を育成する場であるということを感じた	1日ではなくて数日にわたって子どもと交流して、親交をもっと深めたかった。
38	複式授業を間近で見ることが出来た。元気な子どもたちとたくさん触れ合えた。	授業が自分たちで考えて話し合う方式で、自分が今まで受けてきた授業とは違ったので、新しい発見だった。受動的な授業よりも身につけやすく、置いていかれる子がいないので自分が教師になった時も意識したいと思った。	全体的にとっても有意義な研修でした。次の学年でもやってほしいと思います。
39	改めて、教師になりたいと再確認できたこと。	へき地・小規模校の子どもの家族は学校に対して協力的であること。学校と地域との繋がりが密接であること。	とてもおもしろい経験だった
40	へき地校の印象が良くなり、大学での新たな目標を立てることが出来た。	へき地は何も娯楽が無いから子どもたちがかわいそうと言う考え。	将来教員になるうえで、とても良い経験ができました。今後もこの活動を続けてほしいと思います
41	へき地の子供達と身近なところで1日生活したことで、子供達の素直さを感じて良い一面を見ることができた。	小規模校の先生も将来になりたいものの候補に入ったこと。	子どもに対する学生の人数が多かった。
42	少人数に対する、先生の指導方法が学べたこと。また、実際に地域を生かした授業はどんなものがあるのか考えることができた。	へき地教育には多くの利点があることを知り、少人数校についての認識が変わった	グループでみんなで意見を出し合ったのでよかった。
43	へき地小規模校の良さをたくさん発見できた。へき地との触れ合いの場面が多く、先生の指導もよく見れた。複式授業について理解が深まった。	小規模校には小規模校にしかない良さがたくさんあって、それを残していくことが大切だと思うようになった	すごくいい体験になったので今後も続けて欲しい
44	へき地・小規模校ならではの問題の解決方法を教員の対応から学ぶことができたこと。実際に教員の子どもへの接し方を見て学ぶことが出来たこと。	子どもたちとの関係を大事にすることはもちろんだが、地域の方や先生同士の関わりも大切なことだと思った。	新入生研修で小規模・へき地校について理解を深めることができた。小規模・へき地校に対する見方が変わり、プラス、マイナス面について学ぶことができた。
45	実際にへき地教育が見られた点。	成績を上げるだけでなく、人としての価値観や人格形成の重要性を改めて認識出来た。	小規模校の新しい見方ができるようになりました。
46	小規模校の実際の授業を見ることが出来たこと。	子どもの人数が少ない方がより多くの体験や活動ができるということ。	普段体験のできない貴重な体験ができたのでとても良かったです。
47	実際の複式学級の様子を知ることができたこと	児童目線から教師目線に変化した。	新入生研修はへき地校について全く知らない人でも詳しく知れるとてもいい体験だと思った。
48	へき地の見方が変わった	先生と生徒の距離感	普段経験できないため、今回の研修は本当に将来の自分に役に立つものだったと思う。また、今回の研修で教師として大切な子と考えるうえでの視野が広がった。
49	へき地小規模校の現状を知ることができた。	教師と子どもの中に、家族のような深い信頼が築けるんだと感じた。	この新入生研修は毎年1年目の生徒に実施するべきだとも思う。
50	道東に多いへき地・小規模校の授業や指導を実際に見ることが出来て、へき地・小規模校での教員もいいのではと思えた。	子供たちに全て教えるのではなく、考えさせて自分なりの考えを持たせることが大切だと学ぶことができた。	楽しいことばかりですごく良かったです！！
51	へき地・小規模校に実際に行き、子どもたちや教師、また建物など実際に体験しないと分からないことを見れたこと。	地域に支えられている学校はとても雰囲気が暖かいと思い、私もこのような場所で教員として働いてみたいと思いました。	子供達の授業に対する積極性、主体性を知り驚いた。

平成30年度 新入生研修アンケート自由記述

No.	【設問1】 この研修全体の中で、あなたにとって良かったことはどのようなことですか？	【設問2】 この研修を体験したことによって学校や地域、教師や子どもなど、あなた自身の教育観（価値観・認識）が変化したこととはどのようなことですか？	【設問3】 新入生研修全体について意見や感想を自由に記述してください。
52	へき地校について実際に行って体験できたこと。	へき地校はやはり生徒と先生の間がとても親密であり家族のような感じであることがわかりました。またその周辺の地域の協力があり学校運営が成り立っていることがわかりました。	今回の新入生研修を通して、へき地・小規模校の学校の魅力を感じました。
53	複学年教育を実際に見れたこと	先生の工夫、努力次第で様々な問題も克服できるということ	新入生研修を通して、実際にへき地に訪問することでしか味わえないことがあるので、来年も実施したほうが良いと思った。
54	小規模校の良さは、小規模校出身の友達からよく聞いていたが、想像以上に教師と子ども仲がよく、体育の授業がとても楽しそうで、小規模校の楽しさをたくさん知れて本当によかった。	学校と地域が密接に連携して学校運営していることや教師と生徒が家族のように距離が近いこと	1日という短い時間でも学びはあるので、来年も行った方がよいと思います。
55	へき地校について聞いたことはあったが、実際の現場を知らなかったで、今回の研修で学ぶことができてよかった。	教師は単に生徒に教科書の内容を伝えるだけでなく、生徒の考えを聞くことを重点的にやることも大切だと思った。子供の社会性やコミュニケーション能力を高めるにはやはり、地域の方などの支援も必要だと思った。	初めての環境を体験して、いいところを多く感じることができて、とても充実でき、大変感謝しています。
56	へき地の小学校を体験したことがなかったので、実際に体験出来て良かったです。	教師はいつでも真面目であるべきで雰囲気かかたいイメージがあったけど、へき地校の先生方を見てとてもフレンドリーに生徒と接していたため、いつも真面目である必要はないのかなと思った。	小規模校特有の年の離れた子ども同士の関わりや子どもと教師の関わりが密接で、私が通っていた札幌の学校とは違った関係性や距離感があることを学び、地域や親との連携があることもわかったので、有意義な時間を過ごすことができた。
57	へき地校ならではの体験ができ、また今まで思っていたイメージと異なる発見ができたのでとても良い体験だった今後教員になった時に生かしていきたいと思いました。	子供と先生の距離がとても近くて、積極的に関わる姿勢が見れて、へき地の子はあまり意見を言わないイメージが変わりました。わたりの授業を間近で見れたのはすごく良かったです。	複式学級とはどんなものか。文面だけや説明は聞いてある程度は分かっているつもりであったが、私が想像していた授業よりはるかに難しいんだなと改めて実感した。
58	実際の現場に一年生の時から立つことが出来るのが嬉しいです。	へき地だからといって過疎のイメージを持つ自分がいたが、そんなことはなく子供は豊かですごくフレンドリーな子たちばかりだった！！	非常に楽しく、たくさんの学びがあった。ありがとうございました。
59	大規模校と小規模校の違いを体感できたこと	大人数の教室だと1人当たりの発言の回数が増えるなどのことがあります。少人数の教室だと、1人ひとりが主体的に授業に取り組み、先生とのコミュニケーションが多いということに気づきました。単に、へき地・小規模校だけでなく、どの学校でも、こういうことが実践されればよいと思います。	もっとへき地教育の知識を身につけて、またへき地の学校に訪問したいと思いました。
60	小規模校の子供達について実際見たことが無かったので今回の研修で実際見ることで、小規模校の実態についてよく知れたこと	学校と地域が連携して学校運営することの大切さを感じた。	別海町の温かさに感動しました。運動会にも伺ったのですが、地域の方々や保護者の方々にとってもお世話になり、とてもいい町だなと思いました。大学4年間、西春別小学校との繋がりを大切にしたいです。
61	へき地校での先生方の授業の工夫の中で、子供たちが出した意見は否定せずにできるだけ多くの考え方をださせて多様な意見を持たせる方法を学べたこと。また、少ない人数でも楽しく活動できるようにする工夫を学べたこと。	少人数制のほうが、一人一人の状況や指導をしっかりとできることを肌で感じた。	普段できない体験ができるのでとてもいいと思う
62	へき地校の見方がこの体験を通して変わったこと。また、小学生との関わりの中で児童に対する接し方がわかった。授業中に児童の考え方を否定せずに新しい考え方が思いつくようなヒントを与える指導方がとても勉強になったので、これからのフィールド研修で生かしていきたい	複式学級ならではの日常的な異学年交流があったので自然と下の学年ができないことをサポートしたりフォローしたりする場面を見ることができ、児童の主体性などを感じることができたこと。	とても良い経験になりました
63	へき地の学校についてプラス面をたくさん発見することができた。子供達の関わり方を学べた。	2学年同時にやらないと行けないので先生の行き来が激しいが、ある所では最初にその学年に与える課題を黒板に書いて、それをやるように指示するだけの時間もあり、先生方もどの授業が児童にとってはやりやすいのかなど試行錯誤しているんだなと感じた。2学年同時に教える難しさを感じた。	素晴らしい経験ができたので、小規模校との良好な交流をこれからも続けてほしい。
64	へき地の状況であったり、子供達がどうい風になっているかをとても有意義に学ぶことができた！！	小学校は、細かいルールがあり、先生方も細かいことに対しても素早く注意するイメージがあった。それは今まで自分の中ではマイナスに捉えていたが、小学生だからこそ一つ一つ教えていかなければならないと、むしろプラスなことだったんだと、認識が変化した。	事後指導は特に重視することではない気がする。
65	メリット、デメリットがわかった	地域と学校の連携が運営していく上でとても重要なものだと感じたので、保護者や地域の協力なくして成り立つものではないと思いました	とても、貴重な体験になりました。ありがとうございました。
66	私も小学校の時はへき地で育ちました。今回の新入生研修を通して、今度は、教師という立場に立って学校現場の様子を見ることができてよかったです。	複式学級では、先生が直接指導していない時、生徒たちは集中力が途切れてしまうのではないかと考えていたが、生徒たちは黙々とプリント学習をして、間違えたところは互いに教えあっていたので、複式学級のイメージが変化しました。	現場の職員、子ども達の様子を実際に見てみて、自分もいつかこのような現場で働きたいという気持ちが強くなった。

平成30年度 新入生研修アンケート自由記述

No.	【設問1】 この研修全体の中で、あなたにとって良かったことはどのようなことですか？	【設問2】 この研修を体験したことによって学校や地域、教師や子どもなど、あなた自身の教育観（価値観・認識）が変化したこととはどのようなことですか？	【設問3】 新入生研修全体について意見や感想を自由に記述してください。
67	少人数教育や複式授業の展開の仕方について学ぶことが出来た。	地域住民が学校づくりに介入してゆくことがとてもいいことなのではないかと思った。都会の大規模校でも、地域社会との関わりをもっと大切にすべきだと考える機会になった。	とても良い経験になった。ですが、学校が遠かったこともあり活動時間があまりなかったのもう少し時間が欲しいと感じた。
68	研究室のメンバーで行くことでいつもと違った一面を見て良さを見つけたこと。小規模校で育つ児童たちの魅力を感じられたこと。	少人数だからといってマイナス面だけではないということ	模擬授業を少ししてみたくなった。
69	子供たちの前で短い自己紹介をしたときに、子供たちに質問をして共通点を見つけることができてよかった。そのことによって、子供たちとの親近感も最初から高まったように感じた。自分たちで遊びを考え、じゃんけん列車をしたことも、成功だったと思う。	へき地校だと不便が多いと思っていたけど、へき地校の素晴らしさを体験したのでは非教師になって働いてみたいと思った	教師になるにあたってとてもいい経験になりました。
70	今までイメージでしかなかったへき地小規模校について、複式学級の授業は先生が大変なんだろうな、と漠然と思っていただけだったが、実態を自分の目で見て子ども達の主体性などを感じることができたこと。	教師は、教えるのではなく子供を支える仕事だと気づけたこと。	教員志望にとっては良い機会なので、続けていくべきだと思う
71	複式学級での授業の進め方	今の子どもは電子機器を活用していることと、素直さに欠けていると思っていたけれど、へき地校の子どもたちは人数が少ない分、皆が仲良く笑顔が絶えなかった。へき地校の良さを感じることができた。	バス時間が長いのでトイレ休憩を作って欲しいです。
72	子どもと実際に触れ合えたこと	小規模なため、知らない人と関わるのが苦手であると思っていたが、実際に交流してみるととても積極的に話してくれた。	自分は複式授業を受けたことがなく小規模校でもなかったので今回の新入生研修で複式授業とはどういうものか、小規模校の雰囲気はどういうものかなど知ることができてよかったです。児童が少なく休み時間も全校児童全員で遊んでいて他学年とのつながりも強いと感じましたし、教師も少なくコミュニケーションをとりながら協力して学校を運営していました。今回は地域との関係性を見るができなく、他にもまだ見てみたいものが沢山ありまた今後へき地小規模校に行く機会があれば行ってみたいと思います。
73	へき地・小規模校の良いところを見つけることができた。自分が小学校と中学・高校のどちらに向いているか確信を持ち、またそれが何故なのかを認識することができた。	複式学級というものに対しあまり良いイメージがなかったが、実際に大規模校よりも生徒同士の意見交換の時間や、考える時間が多くとれ、雰囲気的にもいいクラスにだということが分かった。	普段見ることでできない、複式授業や小中合同の授業などを観察できて、とても良い機会になりました。
74	へき地の学校のイメージが変わりました。よりへき地で働きたいと思うことができました。	へき地小規模校は大規模校と比べて教育面で差が出ると思っていたがそうではないということ	とても勉強になったので今後も続けて欲しいと思う
75	フィールド研究での学校の規模とのギャップがあり、教員の立ち回り方などの違いを発見できた。小規模校ならではの温かさを感じられた。	子どもたちの縦のつながりが多く、学校全体で成長している気がした	とてもいい研修になったので来年も実施してほしい。
76	へき地の学校の良いところを見つけられたところ	児童の数が少なくても授業はいくらでもやり方があり、できないことはない。	とても良い機会になる研修だと思うので今後も続けていくとこの後の新入生のためになると思います。
77	初めてへき地校に訪問して実際に体験することで良い点がもっと見えてきた	児童がとても自立していて自分の考えを持ちとても大人びていて自分は小学生だから教師側がほとんどほとんど手を出していかないとダメだと思ったのですがもっと児童を信頼し任せてもいいなと思いました。今回行った学校では授業でコンピューターを使っていてあまりそういうイメージがなかったのでへき地小規模校の方が機械を積極的に使えてるなと思いました。	実際にへき地の小学校を訪問することによって普段授業で習っていることを間近で見ることができた。私はへき地のメリットは少ないと思っていたが、実際はへき地でしかできないところがたくさんあり、メリットに包まれている場所だと思った。
78	小規模校のよさを知ることができたこと。	小規模校の児童の方が自立して自学自習が出来ていると感じた。タイマーを使って時間を管理することで時間に対する意識づけができるのだと感じた。	来年もやった方がよい
79	講義でしか聞いたことのない複式授業を見ることができた。複式の利点、単式では分からないことを知ることができて良かった。	へき地の子どもたちは、初めてとてもフレンドリーなかなと思っていました。しかし、触れ合ってみると意外にシャイな子たちが多かったことです。	子供達が温かく迎え入れてくれて、とても楽しかった。先生になりたい気持ちがより強くなった。
80	複式学級の様子を実際に見ることができたこと	教師の何気ない言動や、行動が児童を大きく動かしていることを知ることが出来た。	楽しかった
81	児童と沢山ふれあうことができたので、児童に対する接し方を学ぶことができた。複式の授業を見させていただいたので、いい経験になった。	1人の教師が複数教科教えることがあり、1人で5教科も教えるところがあると分かったこと	運動会に行きたくても行けない学校の人も他のところで参加できるようにしてほしい。
82	自分よりも年下の子供たちと触れ合えたことがいい体験だった。	自分が今まで受けてきた授業だけでなく色々な指導方法があり将来教師になった時こんな見方もあるのだととても勉強になった。	新入生研修というイベントはとても有り難いイベントでした、ありがとうございました。今回の研修を通して児童への接し方、先生の考え方、授業の作り方進め方など様々なことを学ぶことができました。この経験「これからまだあるフィールドで活かしていきたいと思っています。

平成30年度 新入生研修アンケート自由記述

No.	【設問1】 この研修全体の中で、あなたにとって良かったことはどのようなことですか？	【設問2】 この研修を体験したことによって学校や地域、教師や子どもなど、あなた自身の教育観（価値観・認識）が変化したこととはどのようなことですか？	【設問3】 新入生研修全体について意見や感想を自由に記述してください。
83	複式学級の授業を実際に見ることができたこと、特別支援学級と5、6年生の交流授業が見れたこと、児童たちとたくさん交流ができたこと	人数が少なからうが、子供たちは元気に明るく学校生活を送っているのでもそを支えてあげたと思うようになった。	初めて複式学級の授業を見て、複式学級の良さを知ることができて、とても貴重な体験ができた
84	算数の授業でわたりを見ることができたこと	私もへき地出身なので改めてへき地の良さを体感することができた。少ない人数でも生徒が主体的に行動することができていた。へき地のメリットはたくさんあると思った。	研修は、遠方の学校に参加させていただき、仕方ないような気もするが、一度きりの参加というのは少ない研修がする。
85	5、6年生の算数の授業で教えるという体験ができて児童にどのように理解させるかのように気づきを与えるか考えながら授業をすることの大変さを知りました。しかもそれを複式授業でやらすごさを実感したことです。	子ども目線になることが大切だと思った	北海道で教師について学ぶ自分たちであるので、へき地小規模校の研修は、本当に意味のあるものであると思うし、将来教師になった時にそのままいきてやる研修であると思いました。
86	へき地小規模校を実際に訪問して、複式授業を参観できたこと。	大規模校でも取り入れるべき事がたくさんあり、へき地という言葉だけでその学校を評価できないこと。	初めて複式学級を見て、担任の先生の学習指導がすごく難しいんだと改めて実感した。
87	普段交流する機会のない、へき地小規模校の子供たちと交流できて、へき地校の実態を知れたこと。	小規模へき地校だからだめなのではなく、小規模へき地校だからこそできることがあると考えられるようになった。	引率教員と一緒に学校を訪問した学生とも交流して、へき地校の子どもの様子を学ぶことができてとても良い経験となりました。1年目からこのような経験をさせてもらい、今後の教育実習などにいかせていただきたいと思います。
88	5、6時間目の授業を任せられ、自分達なりに創意工夫をして実践したこと。5時間目に失敗したことを6時間目に生かすことができた。	複式授業の形態を学べて小規模校での授業の仕方を学べた。	小規模校を体験する貴重な経験でしたが、とても学校から訪問校が離れていたのもう少し近いと嬉しかったです。
89	全校生が3人という学校を経験できたこと	小規模だからマイナスではなく逆にプラスのような気もしました。小規模だから社会性や児童間での関係が固定されるという課題はあると思いますが勉強面で言えば先生が少人数に教えるので一人一人に対応することができると言うことが元の考えと変わりました	普段の学校体験とは別に、純粋に楽しめる部分があって、モチベーションのアップにもつながりました。
90	へき地小規模校のプラスの面をかなりたくさん見つけられた。また私が考えていたようなへき地小規模校の課題の改善方法も見つけられた。	教師は児童に対して、冷徹に接する時が存在することを知り、適切な距離感の考えが変わったこと。	生徒全員が家族みたいなあたたかい雰囲気良かった。
91	直に、へき地・小規模校の授業を見ることができて、複式学級の難しさや気を配るべきところなど実際に見てみないとわからないことを見て、自分が学ぶべき課題を知ることができた。	複式学級はデメリットが多いと思っていたが、上の学年を見て育つ分一年生もしっかりしてくるなど様々なメリットを見つけることができた	へき地校は生徒数が少ないのでひとりひとりとじっくり向き合いながら関わるといふ魅力を実際に体験して気づくことができてよかったです。
92	へき地ならではの工夫が観れた。複式学級が観れた。小学校の雰囲気を見ることができた。先生がたの技を見ることができた。	以前より、児童や生徒を育てる環境は、学校だけでなく、地域の住民や、地域行政、家庭環境など様々な環境によって成り立っていると考えている。今回の研修で参加させて頂いた散布小中学校は浜中町にあり、浜中町の特徴から、児童や生徒の家庭環境は漁業と関係しているのではないだろうかと考えていたが、漁業と学校の「つながり」はどういったものなのか考えつかなかった。実際に研修に参加してみると、学校に「学校水族館」というものがあり、学校に保護者から魚などの生き物が提供されていた。このことから、保護者の学校、児童、生徒に対する関心の深さが感じられ、やはり地域との繋がりは重要であると改めて認識することができた。	へき地小規模校に在籍経験がなかったため、実際にどのように学校生活を送られているのかわかり、とても良い勉強になりました。
93	複式学級でどのような指導や工夫があるかなどを見れたこと、子どもたちとコミュニケーションを取り合ったこと	私はこれまで物事のマイナス面ばかりを見ていた。そしてそのままマイナスの考えばかりしていた。しかし、それを客観的に見るというふうに変え、そこからどのようにプラスの方に変わっていくのかがとても大事だと考え方が変わった。また、生半可な気持ちでは教師になれないことも痛く感じたので、強い思いを持って教師を目指したいと思った。	訪問先に行ってみると改善策がたくさん見つかるため1回だけでなく、同じ訪問先の小学校は出向く機会があるともっと自分の考えが深められると思います。
94	実際の小規模校に訪問し、自分の身を持って児童との距離の近さを感じたこと。	今までは、へき地小規模校の教育と言っても、それはただ都市部よりも規模が小さいだけでやっていることは変わらないという見方をしていましたが、今回の研修を経て、へき地小規模校の子どもたちが都市部の子どもたちよりも教師との距離が近く、教師の指導が直に児童の成長に影響を与えていると感じました。	へき地の学校を体験していなかったため、今回のような機会は私にとってへき地校の利点や欠点を知ることが出来た良い経験となりました。そのため、来年も引き続きこのような機会を設けるべきだと思います。
95	先生の立場になってへき地教育のいい点や問題点、課題点を感じる事が出来たこと。	へき地校は人数が少なくあまり楽しくないところだと思っていたが、実際子どもたちを見てとても楽しそうに学校生活をおくっていたこと。	とても良い経験だった。
96	複式授業の形態、進め方、時間配分の工夫など複式授業というものを進める上で留意しなければいけない点を実践の現場で見ることが出来たこと。また、授業案は何を子どもたちに教えないのかという大事なキーワードだけを端的にまとめて作ることが大切だと考える。	初めて小規模校を体験しました。そこで、先生方と生徒・児童の信頼関係に魅力を感じました。さらに保護者と学校が連携して、子どもたちがよりよい学校生活を送れる環境を整えているようにも感じました。実際に訪れてみないと分からないことが沢山あり勉強になりました。	とても楽しかったし、有意義な時間でした。運動会への手伝いが人数があまり集まりませんが、間違いなく良い経験となるのもっと積極的に呼び掛けて欲しいと思いました。他にも、もっとこういった機会を増やして欲しいと思いました。